

科目ナンバリング		U-LAS04 20017 LJ46							
授業科目名 ＜英訳＞		精神分析II Psychoanalysis II				担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 准教授 松本 卓也	
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)		教育・心理・社会(各論)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）		
開講年度・ 開講期	2024・後期		曜時限	火2		配当学年	全回生	対象学生	全学向
（総合人間学部の学生は、全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）									
[授業の概要・目的]									
無意識のこころの働きを想定する精神分析の一分野である集団心理学の見地から、現代における社会と集団の病理を考察する。									
[到達目標]									
人間が集団をつくる際に働いている心理的メカニズムに焦点をあてる精神分析の考え方に沿って、社会と集団の病理を理解することができるようになる。									
[授業計画と内容]									
基本的に、下記のテーマに関してそれぞれ2-3回をあて、講義を進める。ただし講義の進みぐあい、時事問題への言及などに対応して順序や同一テーマの回数を変えることがある。									
・左派の成立と展開 ・ヘーゲル左派とマルクス ・フロイトとフロイト左派 ・フロイトとフランクフルト学派 ・「68年5月」とその後 ・ポスト・マルクス主義と精神分析理論 ・ラカンおよび現代思想と政治									
授業回数は期末試験をのぞいて、フィードバック1回を含めた全15回とする。 フィードバック（第15回）方法は別途連絡します。									
[履修要件]									
本講義では、「フロイト左派」「ラカン左派」と呼ばれる議論が主に取り扱われる。「精神分析I」および「精神分析学」において、精神分析の考え方になじんでおくことで、本講義における社会と集団の病理の構造がよりよく理解できるため、これらの科目を受講しておくことを推奨する。									
[成績評価の方法・観点]									
対面授業の場合は、期末試験（100％）による。 ただし、登録人数や授業形態等に応じて、成績評価の方法を変更することがある。講義時間中ならびに掲示による通知に注意してください。									
[教科書]									
使用しない									
[参考書等]									
（参考書） ジグムント・フロイト 『人はなぜ戦争をするのか エロスとタナトス』（光文社, 2008）ISBN:978-4334751500									
----- 精神分析II(2)へ続く ↓ ↓ ↓ -----									

精神分析II(2)

ジグムント・フロイト『フロイト全集 17 1919 - 1922年—不気味なもの、快原理の彼岸、集団心理学』（岩波書店, 2006）ISBN:978-4000926775

[授業外学修（予習・復習）等]

予習として、参考書の読書。復習として、授業中に配布したプリントと自分自身のノートの内容を照らしあわせて理解を深めること。

なお、授業外学修には、いわゆる「予習・復習」だけでなく、授業のなかで学んだことを各自の自習や日常や課外活動のなかで応用・実践し、生きた知識にすることも含まれる。

[その他（オフィスアワー等）]

[実務経験のある教員による授業]

分類

実務経験のある教員による実務経験を活かした授業科目

当該授業科目に関連した実務経験の内容

精神科医師・公認心理師としての様々な領域での臨床実務経験

実務経験を活かした実践的な授業の内容

精神科医師・公認心理師としての様々な領域での臨床実務経験にもとづいて、現代における社会と集団の病理を考察する。